

教育出版部

教育部長會議
日時 十二月八日 場所 聯合會
出席者
議事
勞働學校の開設の件
十二月十八日 開校式
一月十一日 初講義
移動研究會開催の件
毎月開次月番を定めて移動研究會主宰の責任支部となり準備 諸通知、諸般事務の處理を爲す
昭和七年一月又は大阪聯合會に於て日時各地區順位、責任支部を決す
九日 第九地區 紡織神戶支部
十日 第一地區 電機第一支部
十二日 第二地區 印刷本部
十四日 第三地區 金岡北一支部
十六日 第四地區 金岡朝日支部
十七日 第六、七地區 金岡東本支部
十九日 第八地區 金岡界支部
聯合會教育委員會
毎月第三木曜日(後七時ヨリ九時迄)
次月の移動研究會のプラン決定する事
研究題目の決定、講師の決定
第一回定例部員會
日時 一月二十一日 場所 聯合會
出席者
議事
勞働學校充實に關する件
講師承諾後何時も其日に至りて不能の中

青年前衛部

青年前衛部組織並職能に關する打合せ
日時 十一月一日 場所 聯合會
出席者 牛田、田中
協議内容
各専門部と有機的連絡を爲し活動體と成る
二部制とす(一部を前衛、二部を青年、として取扱ひ長を置く)
一部は聯合會所屬の各組合より六十名の精鋭を選抜し構成す
二部は聯合會所屬の青年を以て組織し理論、行動、其他の教育を爲し闘士の養成並に活動體と爲す
聯合會第二回執行委員會
日時 十一月二日 場所 聯合會
聯合會第二回執行委員會に於て青年前衛部組織並に職能に關する草案の一部修正を爲す
修正内容 一部制とし班組織とす
今一度組合の部長と協議し、活動を爲し易き原案を至急作成する事
組合青年前衛部長會議

婦人部

出であつて困つてゐる。尙努力して探し出して良い講師に来てもらふ様に努力を盡す
各支部の登載を充分にすること
勞働者新聞編輯に關して
各支部より諸報告を爲すこと
諸意見の短いものの投稿を爲すこと
ニュース張りの情報を投稿すること
日時 十二月九日 場所 聯合會
出席者 牛田(聯合會)、江見(印刷製錫代理)
米澤(金岡田中代)、田中(合同石田代)
缺席者 田中(金)、吉賀(粉)、石田(合)、眞鍋(印)
眞鍋(印)
組合缺席 電線、製鋼、泉南
協議事項
各組合並に支部にして青年前衛部なき處は直ちに設置すべき事を指令す
組合支部部長會議を開催する事
青年前衛隊を組織する事
組織要綱
各組合並に支部の精鋭分子を以て組織す
各支部又は地域的に班を組織し、班長を置く
班長は各支部の部長を以す
職能
毎月一回以上班長會議を開催し、開會方針教育方針を研鑽し、大阪聯合會執行委員會指導の下に活動す
青年前衛隊は各専門部と相關聯を保つべきものとす
青年前衛隊は青年の階級的教育並に活動方針を研鑽し之れが應用又は指導を爲し青年の保持する純真高潔なる精神を持つて組合運動の上に活用すべき有能なる闘士を養成するものとす
青年前衛部員會は大會直後開催する事
聯合會青年前衛部員會
日時 十二月十二日 場所 聯合會

出席者(金岡)田中正夫、小野田慶三、中谷茂、(合同)田中勲、石田正志、(印刷)江見(紡織)原尚行(聯合會)牛田義春
協議事項
名簿 通知
各組合部長は所屬支部の名簿を作製の上聯合會青年前衛部長に通知の事
各組合は二十五日まで通知の事
青年前衛部を持たざる支部は至急部門の設置すべきことを指令す
青年前衛部は各専門部と相關聯を保つべきものとす
研究會を設けること
日常行動 如何に行動すべきか
現實主義の眞髓の討究
青年前衛隊結成宣言式準備會
二十五日夜、聯合會
結成大會は明年正月中旬
組織
組織は支部を單位として構成す
地域的に連絡機關を設置す
青年前衛部各支部責任者會議
毎月一回以上開催す
開會方針、教育方針の決定
隊旗作成 各隊員より五錢宛贈出
服裝統一 次回までに各自研究する事
大阪労働者聯合會青年前衛隊宣言式、七年一月十六日開業事務所に於て會員二十八名を以て舉行す

六、一〇、三〇 關紡織支部婦人寄宿會甲部室

六、二、四 關紡織支部婦人寄宿會茶室
長會議
五 關紡織支部婦人寄宿會乙部室
長會議
七 天滿紡織支部婦人寄宿會
室、押寄
八 天滿紡織支部婦人寄宿會
化反對開會方針ヲ協議決定ス
全國大會代表議員見送り
二 婦人同盟會ヲ參加
三 婦人同盟會ヲ參加
四 春日出勞働會館建設ノ爲メ努力奉仕ヲサレタ婦人ニ感謝ス
五 天滿紡織支部婦人寄宿會問題ハ勝利解決
六 總選舉ニシテ 撤布、演說會
應援騎士ヲ派遣、推選狀渡送
七 婦人部員ノ動員ヲ爲ス
八 先生出席會議開催 赤松當子
九 關紡織支部婦人部茶話會
一〇 關紡織支部婦人部茶話會
一一 關紡織支部婦人部茶話會
一二 關紡織支部婦人部茶話會
一三 關紡織支部婦人部茶話會
一四 關紡織支部婦人部茶話會
一五 關紡織支部婦人部茶話會
一六 關紡織支部婦人部茶話會
一七 關紡織支部婦人部茶話會
一八 關紡織支部婦人部茶話會
一九 關紡織支部婦人部茶話會
二〇 關紡織支部婦人部茶話會
二一 關紡織支部婦人部茶話會
二二 關紡織支部婦人部茶話會
二三 關紡織支部婦人部茶話會
二四 關紡織支部婦人部茶話會
二五 關紡織支部婦人部茶話會
二六 關紡織支部婦人部茶話會
二七 關紡織支部婦人部茶話會
二八 關紡織支部婦人部茶話會
二九 關紡織支部婦人部茶話會
三〇 關紡織支部婦人部茶話會

六、一〇、三〇 關紡織支部婦人寄宿會甲部室

七、五、一 部々メーデー準備茶話會
メーデー示威運動ハ我總同盟
婦人部ノ參加ヲ爲、ヨリ光輝
ヲ添ヘタ
各支部婦人部聯合茶話會
別室ニテ十萬突破第三回特別
委員會
七、二、一 映畫ノ夕ラ開催
事業部は
七月 十五日
一月 二十三日
二月 六日
三月 四日
四月 四日
に各支部の消費組合又は購買部を開けることより出席を求めて事業部會議を開催した各消費組合又は購買部が取扱ひつゝある物品の持寄りをして其價格、品質等に對して仕入先毎にその比較吟味したる後、各消費組合が現在個々に取引をして居る時の各品によつての價格を、大阪聯合會において取まとめ共同購入する時との比較研究することになり、早速其見解を爲さしめたるに充分共同購入によれば各消費組合の利潤の増加すること、其確實となりたる爲めに、自論を樹て、其實行に着手し三月五日より各消費組合に配達を開始す
其後聯合會委員會又は勞働者新聞上の報告

三三